



落涙エルフ

Elven with Tears

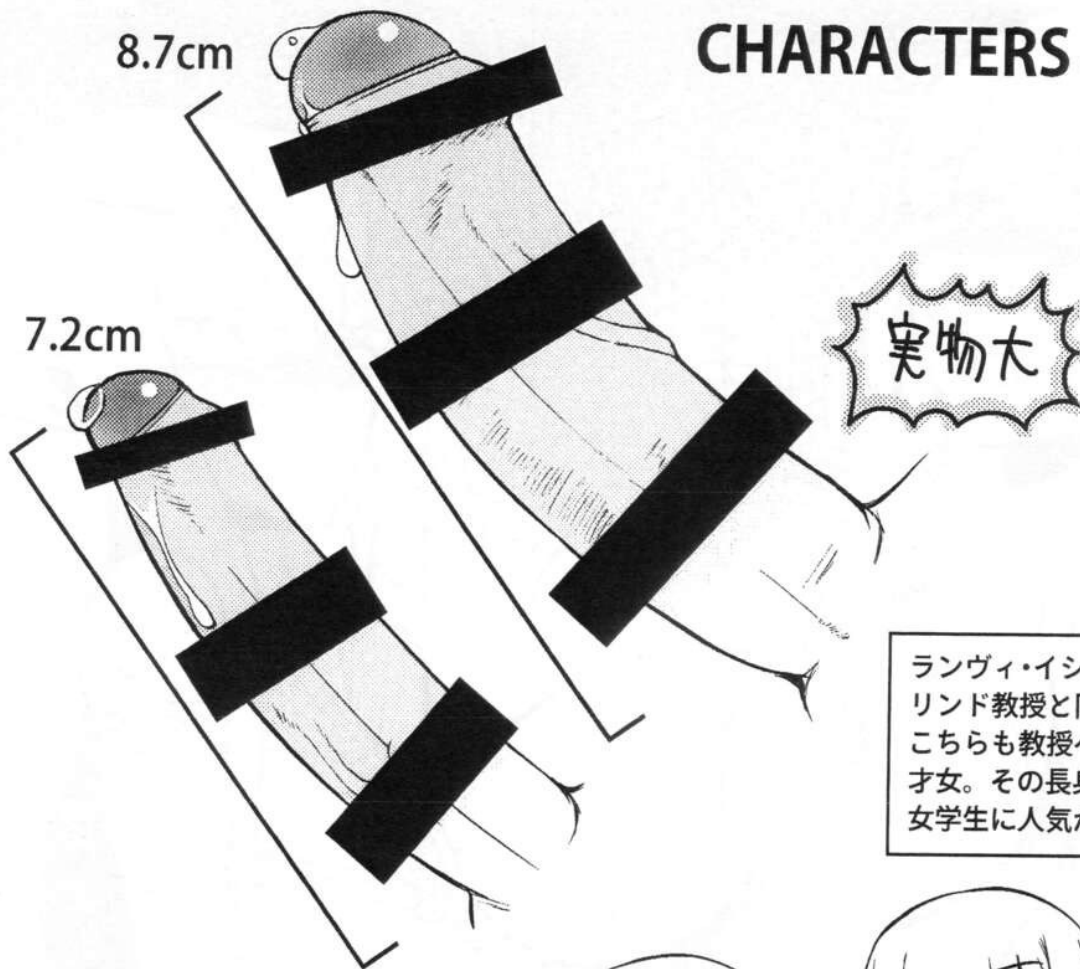
紺色ミル7色

Konro-Mikro Presents

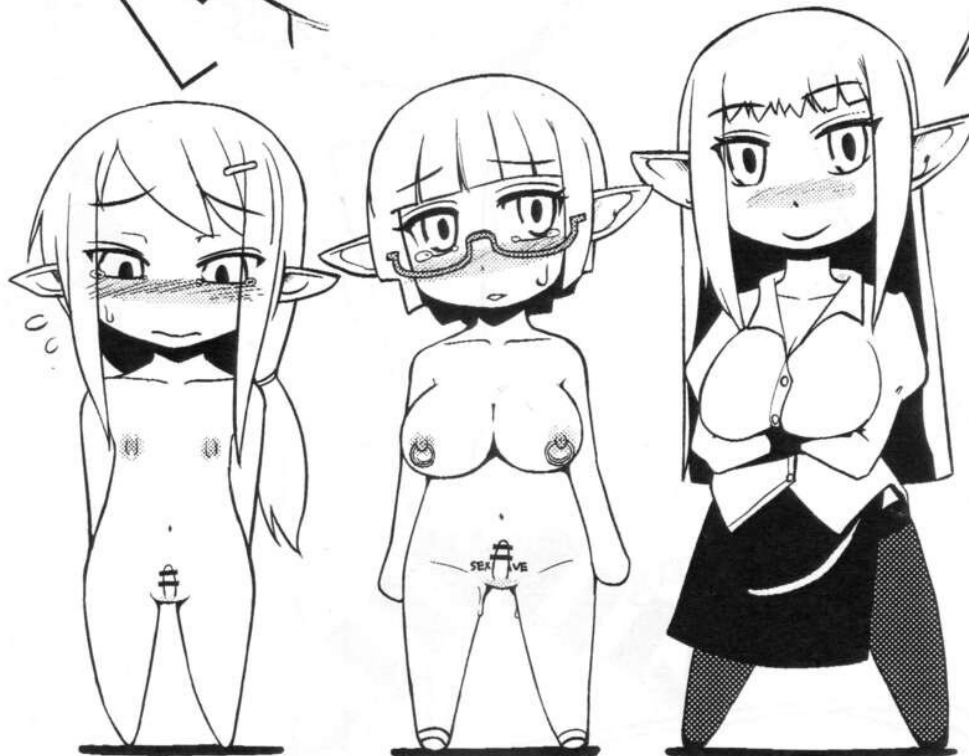
ふたなり
Futanari ONLY

成人向
ADULT ONLY

CHARACTERS and RULES



ランヴィ・イシルラ准教授
リンド教授と同じ研究室の同僚。
こちらも教授への昇進間近とされる
才女。その長身とスタイルの良さから
女学生に人気がある。



ビルギット・ハルシュトレーム
リンドたちの教え子。貧乳・痩身が
コンプレックス。
勃起ペニスサイズ: 7.2cm(包茎)

オルリンド・ニューメネッセ教授
若くして大学の教授位となった才女。学問が大好き。
周りからはリンド先生ちゃんと呼ばれ親しまれている。
プチペニ・包茎ランヴィにバレてしまい、性奴隷にされた。
勃起ペニスサイズ: 8.7cm(包茎)

この世界のエルフ族の掟

- ・自分よりペニスサイズの大きい者には絶対服従
- ・12歳を過ぎて包茎ペニスであることが判明した者は性奴隷として扱う

ランヴィ先生
この肉奴隷の雌穴
最高に気持ち良いですよ

うふふ
そう？
徹底的に調教した
甲斐があったって
ものかしら？

それにしても
研究室でこんなことして
大丈夫なんですか？

今日はリンド教授
居ないから大丈夫大丈夫

良いなあ
私もこんな肉奴隷
欲しいなあ

この奴隷みたいな
リンド先生体型
好みなんですよねえ

ああ…私…
自分の研究室で…奴隷として…
学生に肉奉仕させられて…

こんなズタ袋を被せられて…
顔を判らなくされて…

顔を奪われて
ただの肉穴扱いされて…
オマンコを…
好き勝手に…使われて…
精液捨て場にされてる…

SEX

いっしょっ

いっしょっ

「さあご奉仕なさい？
エルフなら判るでしょう？
自分が何に従うべきか

「そうそう
オチンチンの小さい子は
大きなオチンチンには
絶対服従なの

——二人のペニスを見せつけられ、
自分のモノとの圧倒的な違いを
目の当たりにしてしまった私の
理性はペニスの大きな者に
逆らえないというエルフの本能で
焼き付いてしまい——

——屈辱的な恰好で自分の粗末なものを
晒しながら、口を使ってペニス様に奉仕を
初めていました。
サイズの違いによる圧倒的な被征服感に
いつしか私の女性器は涙を流して
征服される準備を整えていました——



——私の女性器が渴望しているのは
巨大なペニス様による圧倒的征服による
破瓜でした。

しかし私の処女を奪ったのは、あろうことか
先程ランヴィ先生達に弄ばれていた最下層の
性処理奴隷でした。

肉奴隷の粗末なペニスによる破瓜
そして膣内射精
私の女性器の初めては、性奴隷に奪われました。

性奴隷の射精を膣内に感じたとき、
私は悟りました。

自分は性奴隷の性処理をする、
性処理奴隷以下の奴隷であると。

最も卑しくイヤらしい身分への
転落に気付いたとき、背筋に
ゾクゾクとした感覚が走り、

そして

射精しました。



私は奴隷として射精してしまいました。
もう決まりです。もう戻れません。
私は奴隷。
私はペニス様にご奉仕する肉奴隷。
性処理奴隷の性処理までしてしまう
下っ端奴隷。

嗚呼...どれい...どれいなの...

「さあ、今日はここで一晩過ごすのよ」

「先生、ここって…外…」

「そうよ。」

貴女は今からこの首枷に拘束されるのよ。

オマンコとお尻を晒したまま一晩ここに放置されるの。

この首枷、最近はこちらとした名所になってるのよ。

夜になると調教中の性処理奴隷が繋がれていて

自由に使って良いことになってるって評判なの。

ふふ、そうよ

貴女の先輩奴隷のオマンコがガバガバなのは

この調教を続けたからなの。

あの子ああ見えてこの調教が大好きなんだから。

小柄なあの子でも

手首が入るぐらいに

ガバガバにして貰えたわ

貴女も手首が入るようになるまで

毎晩ここに繋いであげるわね。

「そんな…いやです…ここは…」

オンナノコのここは

手首を入れる場所じゃないです…

「何を言っているの？ オンナノコ？

貴女は私の性処理奴隷。

私の性処理奴隷は手首をオマンコに

咥え込めなきゃダメなのよ？

私がそう決めたの。

みつともないガバガバ

オマンコこそ性奴隷に

ふさわしいオマンコなのよ

アハハ!!

ペニスは正直ね!!

貴女の粗チンが

勃起したわよ!?

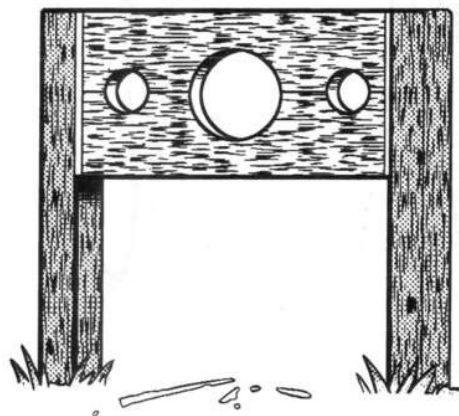
さあ、ここに首を

載せて…

そうそう

朝に迎えに来るわ

じゃあね



落涙エルフ

著者：鈴木志奈

発行：紺色ミルク色

発行日：2014年5月3日(ふたけっと10)

印刷：コピー機

連絡先：Shina.Suzuki@gmail.com

Copyright (c) 2014 Suzuki Shina/Koniro-Milkiro All Rights Reserved.

本書を著者の許可無く複製、複写、転載、翻訳することを禁じます。

No reproduction or republication without written permission.